

(公財) 米盛誠心育成会だより 第30号

お別れの会を終えて



理事長 米盛庄一郎

昨年10月に逝去した米盛庄司前理事長の「お別れの会」が本年7月6日に西本願寺鹿兒島別院にて執り行われました。コロナ感染が収まらない中で通夜や葬式は多くの人を集めずに家族、近親者で行い、会食も控えるようになりました。新聞の死亡広告でも身内で葬儀等を終えてから報告が多くなりました。日本、特に鹿兒島では人が亡くなることにおいて弔意を表すのに必ず弔問に訪れるという意識が高い県民です。前理事長の「お別れの会」は西本願寺鹿兒島別院で行うことは決めてはいましたが、コロナ感染の状況をみての開催となり、蒸し暑い中、梅雨空の中、300名ほどの方々に弔問を頂きました。県外からの参列者の方もおられ、心より感謝しております。その場で挨拶が出来たことで一つの区切りを終えた気分となりました。

2月に始まったロシアのウクライナ侵略は収束の兆しが見えず、またコロナの感染第8波が始まりました。世界はエネルギー、食糧問題で物価の上昇が続く、日本は円安となつていますが、当財団の運営は理事、評議員、監事の皆さまの支援のもと円滑な運営がなされており、特に円安における資金の運用には今のところ心配はない状況です。令和8年には財団設立35年を迎えます。25年の行事を参考に記念講演会開催などの周年事業を計画します。これからも財団の運営にご協力をお願いし、前理事長の財団への想いを引き継いでいきます。

令和3年度奨学生終了式・進路

3月、7名の奨学生が卒業しました。それぞれの進路でなお一層、ご活躍ください。進路先は次のとおりです。  
▽進級：鹿兒島工學院専門学校専攻科へ  
▽就職：単人工業高校卒ワタキューセイモ

ア(株)、鹿兒島工業高校卒(株) 秀光、西日本高速道路(株)、留学生帰国

令和4年度奨学生採用通知書交付式

受給希望者の中から、所属学校等の推薦書及び選考委員による面接の結果、11名が決定され6月18日採用通知書の交付式を行いました。

単人工業高校1名、鹿兒島工業高校2名、加治木工業高校1名、鹿兒島工學院専門学校2名、鹿兒島工業高等専門学校2名、鹿兒島大学1名、鹿兒島大学留学生2名。

米盛理事長から採用決定書の交付と祝辞の後、選考委員の竹元理事からお祝いや励ましの言葉をいただきました。財団発足以来の採用者は、404名になりました。



令和4年度採用の奨学生の皆さん

令和4年度研究助成金交付団体が決定

今年度の研究団体への助成金は、次の5団体(400万円)に決定し、7月19日米盛建設(株)において、米盛理事長から各団体代表者へ助成金目録の贈呈を行いました。また、昨年度からの継続分5件には340万円が決定し、今年度の助成金総額は740万円となりました。

\*黒毛和種子牛における血液中のビタミンDの状況把握とビタミンDによる免疫賦活作用および抗炎症作用の検討(牛のビタミンD研究グループ)

\*塩化ユウロピウム結晶膜の低圧環境下で得られる発光増大の機構解明とその増強に関する研究(鹿兒島大学理工学系吉留俊史准教授)

\*セルロースナノファイバーからの機能性材料の創製(鹿兒島大学理工学系山元和哉准教授)

\*フラインバブルを用いた赤潮防除システムの開発(フラインバブル赤潮防除研究会)

\*鹿兒島県産火山ガラス粉末および漂着軽石を活用した環境配慮型コンクリートによる漁場造成技術の開発(環境配慮型コンクリートを用いた漁場造成技術研究会)



令和4年度研究助成金目録贈呈式

奨学生からの便り(抜粋)

米盛誠心育成会の奨学生となって

単人工業高校2年 迫嬉波

奨学生として採用していただき、心から感謝しております。将来は工業高校の実習補助の先生を目標にしています。実現のため様々な検定に積極的に挑戦し、最大限の努力を積み重ね、夢を叶えます。奨学金は、電車の定期代、検定の受験料や部活の道具等に充て、更に充実した高校生活を過ごしたいと考えています。母子家庭の為、家庭に負担がかからないように、これまで自分なりに節約をしながらには経済面を考えて参考書の購入を諦めたりと暗い気持ちになることも多々ありました。その中で、今回奨学生として採用され、とても安心し、心が軽くなりました。今後の学校生活では、気持ちに余裕を持って多くの資格を取得し、将来教員としての活動に活かせるような知識を身に付け、また生活面でも健康に留意し、より一層学業に励んでいこうと思えます。

鹿兒島工業高校2年 富永大貴

今回奨学生となれたと聞き、とてもうれしく思うと同時に、僕でよかったのだろうかというプレッシャーも感じました。奨学金は主に部活の移動や食事代、寮費に使い、親の負担をなるべく減らそうと思っています。奨学生となり、毎月2万円という大きな金額をいただけることになりました。そのことに、誇りと自信をもち、これからの資格取得や部活動、進学、就職に向けての勉強など、学校生活をより有意義にし、今まで以上に夢に向かい精進していこうと思います。特に部活動では今年度からキャプテンを任せられたため、部員を先頭で引っ張れるような存在になれるようがんばりたいと思います。奨学生にしていただき本当にありがとうございます。

鹿兒島工業高校2年 荒武匠弥

奨学生として採用していただきありがとうございます。奨学金は学費などに充て有効に使用いたします。高校2年生になり専門的な知識を学び始めました。卒業後は鹿兒島高専へ進学し、その後は大学進学も考えています。奨学金のおかげで親の負担を減らすことができ、大変うれしく思っています。将来鹿兒島県に貢献する公務員になるため、現在学業に精進しています。今の目標は、来週のテストで1位を取ることです。前回は残念ながら2位で悔しい思いをしました。今度こそは達成したいと思えます。今後は奨学生の自覚を持ち、学校生活だけでなく、あらゆる面で責任ある行動をとりたいと思います。また、チャレンジ精神を持ち、周囲より上の資格試験にも取り組んでまいります。学業面だけでなく生活面でも皆の手本となるよう常に向上心を持ち続けたいと思います。

加治木工業高校2年 築島拓臣

この度、奨学生に選んでいただきありがとうございます。この度、奨学生に選ばれ、今まで以上に普段の学習や資格取得の勉強に対する姿勢や気持ちの強さが増してきた感じがします。資格取得の受験料はとも高く、無料で受けることができる資格は一切ありません。なので、母にも負担がかかることがあります。それを少しでも軽減できてとても良かったです。

と思います。しかし、1回で合格せずに何回も受験をしてしまうと奨学金が無駄になります。だから、資格取得に対する捉え方に違いが出てきました。これからは、奨学生としての自覚をしっかりと持って、今までよりも周りからの期待に応えられるように学習面、生活面、部活を両立させるように頑張りたいと思います。卒業後すぐに一人の社会人として生活していけるように責任感を持って生活していきたいです。

鹿兒島工學院専門学校2年 宮嶋海人

このたびは、奨学金のご支援をいただき、誠に感謝しております。私は、片親にも関わらず鹿兒島工學院専門学校へ進学し2級建築士の資格等に向け勉強しております。奨学金のおかげでアルバイトの時間を減らしても生活でき、勉強に集中して取り組んでおります。また、少し余裕ができて、以前より深い学びができています。社会の立派な一員となり早く鹿兒島の建築業界の力になれるよう知識を積みみたいと考えています。設計か施工管理どちらの道に進もうか迷っていましたが、インターンなどを通じて、まだまだ知らない職種があることに驚き考え直すきっかけとなりました。視野が広がったことも奨学金の援助があったからだと考えています。奨学生として自覚と責任を持ち、恥じのないような行動、言動をしていけるよう努力して参りたいと考えています。

鹿兒島工學院専門学校2年 今福音帆

奨学生となり、感謝とこれからも勉学に励もうという気持ちになりました。交付式で、この奨学生制度は歴史があり、米盛理事長さんの御先祖様の御遺産と聞き、とても貴重な御遺産だと思いました。伝統ある育成会に選ばれ光栄な気持ちと、選ばれたからには一層勉学や地域に貢献したいと思えました。来年度は専攻科に上がり二級建築士の資格試験を受ける予定です。苦手な所をよく理解し、より点数をとれるよう更に勉学に励みたいと思っております。この伝統ある制度の奨学生となって就職した際、鹿兒島に寄り添った建物をづくり、地域で活躍したいです。

最近では木造でも大型建築物が建てられて  
いるので、新しい情報を取り入れ、多く建物  
を作れるように、二級建築士に受かるよう更  
に勉学を頑張りたいです。よろしくお願い致  
します。

鹿児島工業高等専門学校4年 上村貴太

奨学生に採用していただき、誠に嬉しく存  
じます。これまで何百人もの学生達を支援し  
たと聞き、凄いなと思いました。学生の知識  
技術向上の支援は同時に、将来の鹿児島や他  
の地で活躍する人材育成にも繋がっている  
と思います。鹿児島の発展には少なからずこ  
ういった背景があるのだと気がきました。そ  
の奨学生という立場になり、嬉しさと共に、  
今後の行動に責任を伴うという事を理解し  
ました。僕の将来の夢は鹿児島のまちづくり  
に携わる事です。それにはもつと多くの知識  
を身につけなければなりません。奨学金によ  
り、今まで以上に勉強に集中できる環境にな  
りました。学校での学習や、資格取得のため  
の勉強、この先の研究等にも、一層励みたい  
と考えています。夢に近づくためにできる事  
を着実に積み重ねて行こうと思います。支援  
して良かったなと思える奨学生となれるよ  
うに頑張ります。

鹿児島工業高等専門学校4年 廻歩夢



奨学生に採用していただき、ありがとうございます。  
私には、建物を建てる仕事につく  
夢を抱いて、進路を鹿児島高専を選びました。  
中学三年生の頃は高専の都市環境デザイン  
工学科は建築系より土木系の学科だと思っ  
ていました。建築の根幹である土木につい  
て、勉強したいという気持ちから高専に進学  
し、勉学に励んでおります。そして二年生の  
際に海外の建築物の授業をきっかけに、グロ  
ーバルな技術者になりたいと決心し英語の  
勉強にも、取り組んでおります。現在英語検  
定準二級を取得しており、二級取得の勉強に  
励んでいます。資格としては技術士第一次試  
験も受験する予定です。授業の復習や過  
去の問題に取り組み、学校や英検の学習と両  
立できている状態です。今後は夏期の長期休  
暇中により一層集中して取り組む計画です。  
今後とも奨学生にふさわしい人材に成長で

きるように精進いたします。

鹿児島大学工学部4年 福留勘太



今回奨学生になって奨学生としての自覚  
と、より一層恥じない充実した大学生活を送  
ろうという覚悟が決まりました。奨学金を応  
募した理由は、主に2点挙げられます。一つ  
目はお金に余裕を持たせ、より大学の研究と  
部活動に充てる時間を作りたいからです。  
私は研究と部活で比較的充実した生活を  
送っていますが、バイトでお金を貯めており  
最近の研究も忙しく、バイトも入れない状  
況が続いています。そこで奨学金でバイトを減  
らそうと考えました。二つ目は院進学のため  
のお金のためです。来年院への進学を考え  
ていますが、弟が今年大学に進学し、家計を考  
えて、もつとお金が必要と考え、応募しまし  
た。今回、奨学生になり、より一層頑張ら  
うという気持ちが増えました。給付されるお  
金を無駄にしないようにこれから大学生活を  
より充実していきます。今回は選抜してくだ  
さりありがとうございます。

鹿児島大学院3年 ANNI (中国河北省)

博士号の取得に専念すると決意し、援助を  
必要とした時に、奨学生に採用して  
いただき、心より感謝申し上げます。交付式で、  
米盛理事長と竹元理事から励ましのお言葉  
をいただき、大変ありがたく思っております。  
大学時代に奄美島嶼に出会い、現在、博士課  
程で近代における奄美島嶼の変容を島嶼教  
室を中心に研究しています。昨年は島嶼教室  
の教授法や、伝承される唄の傾向等の研究を  
進め、今後は歌詞に注目し、各教室のフィ  
ールドワークを中心に進めたいと考えていま  
す。また、範囲を群島内から本土の教室にも  
広げ、新しい視点も付け加えたいと思ってい  
ます。コロナ禍やロシアウクライナ戦争の影  
響で、社会が変化するなか、時代に対応する  
には幅広い知識やチャレンジ精神が重要な  
ことを再認識しました。今、24年間続けてき  
たピアノでも日本の指導者ライセンス取得  
を目指しています。更なる努力で、自己実現  
に向け頑張りたいと思います。

鹿児島大学院3年 李佳洲 (中国甘肅省)

奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございます。  
ごさいます。交付式で、理事長と理事から  
激励のお言葉をいただき、荣誉と責任を感じ  
ました。私はインフルエンザウイルスの研究  
を行っています。季節性インフルエンザは繰  
り返し流行し、全世界で毎年300万人から  
500万人が重症化し、多くの死者を出して  
います。近年は、新型コロナウイルス感染症  
が大流行し、今でも有効な治療方法や重症の  
患者さんへの薬剤が見つかっていません。私  
は、ウイルスなどによる病気に迅速に対応で  
きるアッセイシステムを開発し、将来同様の  
感染症パンデミックの対応に貢献したいと  
考えています。これまでは、自分のことだけ  
を考えていましたが、理事長や他の方々のお  
話を聞き、研究者としての責任を感じました。  
今後は育成会の精神を元に、学習した知識、  
研究した結果で社会貢献ができる人になり  
たいです。

継続奨学生からの便り(抜粋)

鹿児島工業高等専門学校5年 有村駿

引き続き、奨学生になれたことに感謝いた  
します。今年度は大学の編入試験や卒業研究  
が数多くあるので頑張りたいです。大学編入は  
豊橋技科大に進学することに決めました。学  
校推薦で書類選考になります。念のため、  
気を抜かず一般の編入試験の勉強にも  
取り組みます。卒業研究のテーマは木質バイ  
オマスを利用したサツマイモの生育調査に  
決まりました。土を運んだり、力仕事が多く  
大変ですが研究が楽しみです。部活動では、  
7月に熊本で開かれる九州高専大会が最後  
の大会になります。コロナ禍で練習も満足に  
できず開催自体も不安ですが、限られた練習  
時間を有意義なものにしていきたいです。最  
終学年で最後となる行事が増えてきますが、  
楽しんで今年1年を過ごしたいと思います。

鹿児島工業高等専門学校5年 山ノ内諒

今年度も奨学生として継続をしていただ  
き御礼申し上げます。今年度は2つの目標が  
あります。第一に学会で表彰を受けること  
です。現在、私は材料工学に関する卒業研究を

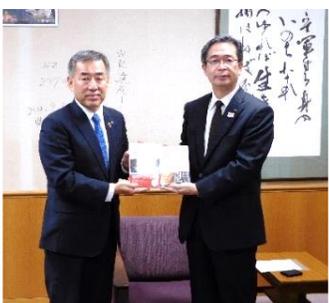
行っています。バイオマス発電に伴って発生  
する廃棄物であるパームヤシ殻焼却灰の有  
効利用を目的に、アルカリ活性材料の「ジオ  
ポリマー」に混合することで課題となってい  
る流動性の向上を図るものです。年度末の土  
木学会で研究を発表し、優秀講演賞を受賞す  
るために研究活動に励みたいと考えていま  
す。第二に、英語力の向上です。高専卒業後  
は、専攻科建設工学専攻への推薦をして頂き  
ました。進学後は国際会議への参加も予定し  
ているので、英語力の向上も目指したいと考  
えております。今年度は、奨学生としても最  
終年度となります。社会的課題を解決できる  
技術者になるため、昨年度以上に勉学に精進  
して参りたいと思います。

県内公立高校へ図書贈呈

今年度は、郷土鹿児島が生んだ稀代の経営  
者「稲盛和夫」氏の著書『活きる力』と本県  
スポーツの発信者である「政純一郎」氏の著  
書『大島高校野球部の軌跡』を県内の公立高  
校68校に、計308冊贈呈いたしました。

10月20日に行われた贈呈式では、米盛理  
事長が「価値観の多様化やグローバル競争が  
激化する時代となり、環境の変化に対応でき  
る考え方、強い精神力が必要となる中、両書  
が、次代を担う生徒の皆さんのチャレンジ精  
神を奮い立たせ、高い志を持って人生を歩む  
ための羅針盤となることを期待する。」と挨拶  
し、応対した東條広光教育長からは「継  
続して寄贈していただき心からお礼申し上  
げる。一人でも多くの高校生が両書を手にと  
ってくださることを期待している。」との謝辞  
がありました。

また、今回は、県内学生の修学援助の一環  
として、(公財)鹿児島県育英財団への寄附  
(50万円)も合わせて贈呈し、教育長から「事  
業の趣旨にご賛同いただき厚く感謝申し上  
げる。」(寄附につ  
いては有効に活  
用させていただきます)とのお礼の  
言葉をいただきました。



「活きる力」の著者である稲盛和夫氏と政純一郎氏を  
迎えることとなりました。

研究助成成果報告会の開催

11月17日、令和2年度に助成決定したテ  
ーマ3件、①鹿児島大学理工学域工学系 鷹  
野准教授の「3Dレーザーラスキャンングによる  
樹形点群データを用いた森林資源の活用  
促進に関する基礎的研究」②同大学理工学域  
工学系 中村准教授の「鹿児島伝統包丁の工  
学的検討と発展的展望の検討」③同大学農学  
部 坂尾助教の「鹿児島在来カンキツの特性  
解明とその高度利用化の促進」について報告  
会が開催されました。

参加者からは、「今後とも行政との連携を  
進めていくことが必要である」、「企業とタイ  
アップして商品化が可能となるような研究  
を期待している」などの意見が寄せられまし  
た。



事務局から

「育成会だより」も皆様方のお陰様で今回  
30号の節目を迎えることとなりました。こ  
れまでの先輩諸氏の思いを胸に、これからも  
役員の皆様方のご指導・ご協力のもと定款に  
掲げた目的を果たせるよう、健全な事業の運  
営に努めて参ります。

※紙面の都合で奨学生の皆さんからの「た  
より」は抜粋で掲載しております。ご了承く  
ださい。

事務局連絡先

890-0014 草牟田二丁目二一七  
米盛誠心育成会事務局 南・水元  
(099) 226-0205  
E-mail: k-minami@yoneg-net.co.jp

